江戸ある記

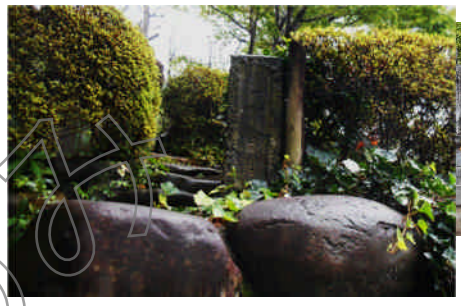
目白界隈

NO。33　　2015.10. 16(金)

護 国 寺

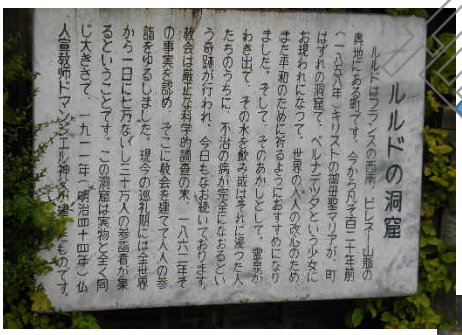
江戸時代の本堂

塔の鐘



芭蕉庵

東京カテドラル



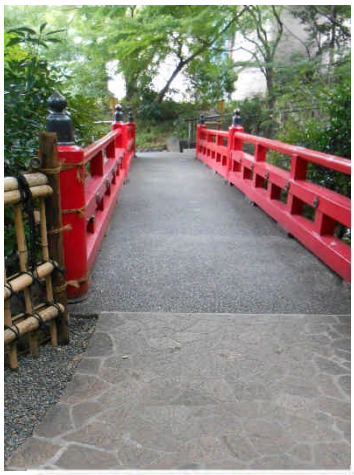
ルルドの洞窟

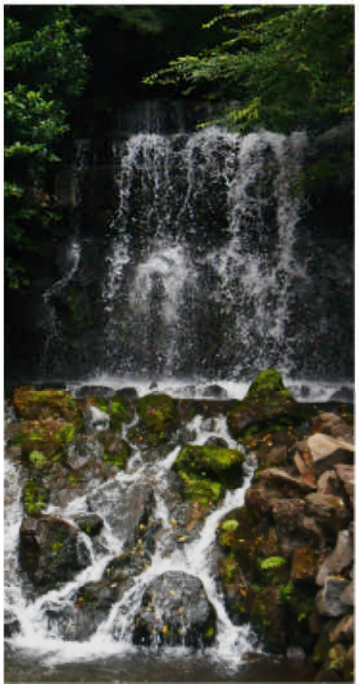
ルルドはフランスの西南、ピレネー山脈の奥地にある町です。今から凡そ百二十年前（一八五八年）キリストの御母聖マリアが、町はずれの洞窟で、ベルナデッタという少女にお現われになって、世界の人人の改心のために、また年初のために祈るようにおすすめになりました。そして、そのあかしとして、霊泉がわき出て、その水を飲み或はそれに浸った人人のうちに、不治の病が完全になおるという奇蹟が行われ、今日もなお続いております。教会は厳正な科学的調査の末、一八六二年その事実を認め、そこに教会を建てて人人の巡礼を許しました。現今の巡礼期には全世界から一日に七万ないし二十万人の参詣者が集るということです。この洞窟は実物と全く同じ大きさで、一九一一年（明治四十四年）仏人宣教師ドマンジエル神父が造ったものです。

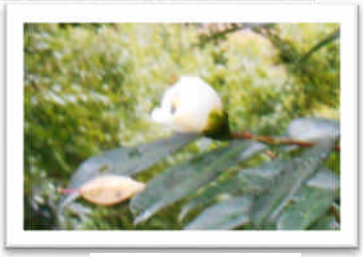
古池や
かはづとびこむ
水のおと

芭蕉

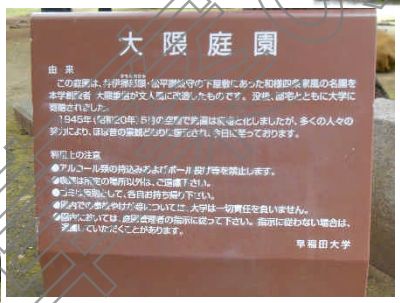
椿山荘庭園



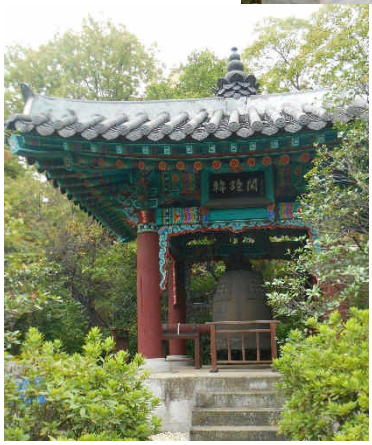




早咲きの椿



都電荒川線



大隈講堂と早稲田キャンパス